



センソ グローブ

グリップセンサー付き
最高級 CABRETTA グローブ

操作ガイド



ワンポイント

アプローチショット：最もミスをするのは、まずグリップを強く握りしめることと、素振りと実際に打つときに指のグリップ圧が変わってしまうことです。その為、しばしば起こるミスは、手首を必要以上に使いそのため打ち急いでボールを叩くようなスイングになってしまうことです。

安定したグリップ圧：軽く、一定のグリッププレッシャー（圧力）を保つことがグリーンに出て難関を乗り越える最も重要なキーポイントです。

グリップ圧とフォームの関係：強く飛ばしたいと思いきり力を振り絞ることは大事なグリップのフォームをくずすばかりか、手、手首、肩及び背中筋肉を硬直させ、かえって速い動作や力を抑制することになるので、結果として早く打っても筋肉の硬直で動作は遅くなります。クラブヘッドのスピードは落り結局硬直させた筋肉は完全な力を発揮されなくなります。

結果：強くグリップを握りしめることでゴルファーの手、手首、腕、肩などが堅苦しくなり、クラブヘッドのフェースが自然に開いたり閉じたりするスムーズな動きを抑制してしまいます。常に手と腕の力を抜きリラックスすることがミスを起きないようにする秘訣でしょう。

開発製造元

SensoSolutions GmbH
Neupforte 15, 52062 Aachen, Germany

正規輸入販売元

有限会社ビーカンパニー
東京都千代田区神田和泉町 1-12-6
Tel 03(3866)7334 Fax 03(6368)6000
URL <http://www.becompany.jp>

開発/原材料：ドイツ
製造/縫製：中国

使用グローブにもドイツ製最高級 CABRETTA を採用

センソグローブに使用しているグローブの材質は、最高級の CABRETTA(シブスキン) に防水加工を施した、耐久性、耐水性、風合いにすぐれた素材を採用しています。数多くのモニター、トップアマから高い評価を得ております。

個々のグリップカプロフィール

ゴルファーのグリップは個人差がありますので、自分にあったグリップレベルにあわせてセンサー感度を調整する事もできます。もっと強く握りたいとか、センサーが敏感すぎると感じた方にはこの方法をおすすめします。



1 まず、コンピュータの電源を落としてクラブをもちます。そして、自分のもちたい力でもちます。



2 そのグリップを保ちながらコンピュータをオン。センソグローブはグリップ力を分析してセンサーをその状態にアジャストします。



3 もとの標準グリップに戻すには、またコンピュータの電源を落とし、クラブを外して再びオンするだけです。

センソグローブを使用した練習

センソグローブは普通のゴルフラウンドでの使用はもちろん、練習用としても開発されました。グリップ力のセンサーに慣れるため、最初は練習場で使うことをお勧めします。

センソグローブに慣れてきたらゴルフコースで試してみてください。最初はグリップ力を保つことに慣れるのは難しいかもしれませんが、ラウンドで慣れてくるとそのグリップ感覚をつかめると思います。センソグローブはゴルファーの毎日のスイングチェックとして使うと効果があるでしょう。

最適なグリップ力とは、緊張はないが、ゴルフクラブを握るグリップ力がいつもコントロールできていなければなりません。多くのプレイヤーは、実際のスイング中、無意識にグリップに力を入れすぎていることがあります。

センソグローブで正しいグリップ圧によるスイングが出来るようになると、アラームが鳴らない状態となります。但し、アラームを避けるあまりスイングがゆっくりめになると正確なテンション（圧）を感じできませんので、普段の通りにスイングをして下さい。

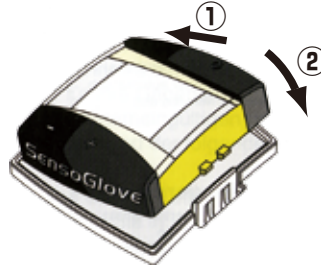
もし、軽いグリップを保ち続けることが難しいようならば、センサーレベルの数値を下げて（低感度）トライして下さい。慣れてきたらセンサーレベルの数値を上げて（高感度）トライして下さい。

センソグローブによってグリップコントロールをマスターすれば、多くのゴルファーはライト（軽い）なグリップを保ち続けられるようになるでしょう。

コンピュータ装着方法

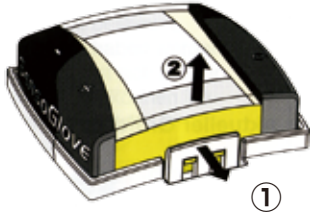
グローブに装着

グローブソケットに①の様に押し込んでから、②の様に上から押して下さい



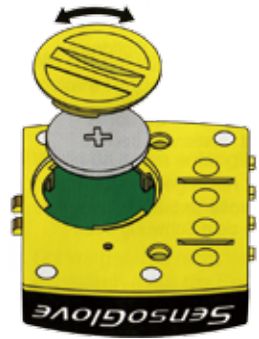
グローブから脱着

①のツメを少し広げながら②の様に上に引き上げて下さい



グローブ装着時にコンピュータが定位置にあること、きちんとグローブとつながっていることをご確認ください。

電池交換 (CR1620)



コイン型リチウム電池 CR1620 を使用して下さい。
図の溝にコインなどを差し込み回転させてふたを外して電池を交換してください。
それ以外の電池は使用しないで下さい。
故障の原因になります。
使用しないときには製品から外しておくことをお勧めします。

センサグローブは防水設計ではありません。
水との接触を避け、特に雨天には使用しないでください。
そのような使用法で故障した場合は保証の対象外となります。
センソソリューションズは、ここに書かれたような使用法以外の方法で使用された場合について、一切の保証は出来かねますのでご注意ください。

保証規定

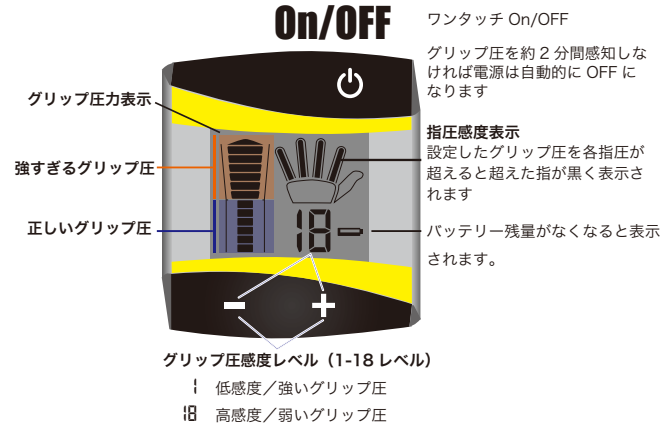
コンピュータ本体

- ・購入時に損傷ある場合は購入7日以内であれば無償交換致します。
- ・購入時に機器に不具合があれば購入7日以内であれば無償交換致します。
- ・漏水などによる機器不具合に対しては保証対象外となります。
- ・衝撃などによる機器不具合に対しては保証対象外となります。
- ・使用上の不注意でグローブ側ソケットに装着するためのツメの破損は保証対象外となります。
- ・上記以外の場合、購入後6ヶ月以内の不具合があった場合は交換します。

グローブ本体

- ・購入時にグローブに傷など損傷がある場合は購入7日以内であれば無償交換致します。
- ・グローブの使用による消耗は保証対象外となります。

ボタン/液晶表示画面

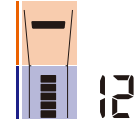


液晶表示例



指表示

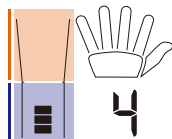
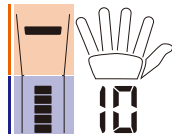
設定した圧力レベルを超えた際にアラームと同時に、圧力が負荷された指を表示します。



圧力レベル表示

動作中にアラームと同時に感知した最大値の圧力レベルが上部に表示されます。
グリップ圧感度レベルとバーの表示は運動しています。
感度を下げるとバーの数は下がります。(グリップが強い)

適正なセンサー設定



クラブを握りながらコンピュータの電源を入れます。
最初グリップ圧感度レベルが10前後が表示され、その時のバーの表示があなたの平均的なグリップ圧です。
最大グリップ圧も同時に表示されます。
この時バーのレベルが6以上かアラームがひんばんに鳴る場合は、センサー感度を下げる(-のボタンを押す)ことによりアラーム音がなりやみます。また、センサー感度を下げるとバーのレベルも下がります。
センサー感度を下げる事により、より細かいグリップ圧を管理できます。

センサーが感知してから5秒間グリップ圧がディスプレイに表示されます。

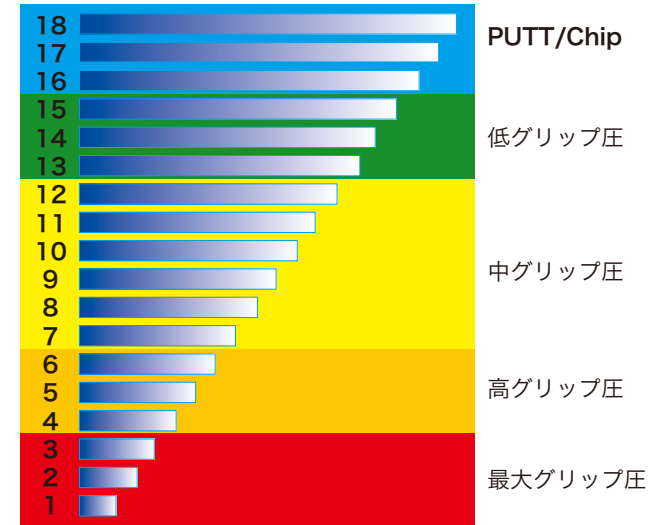
スケールとしては1(低感度:強いグリップに反応)から18(高感度:弱いグリップに反応)までありますが、10番目の力を使ってみてください(ディスプレイでは3つの棒です)。
この力(4)を使ってハーフやフルスウィングで練習して、軽いグリップで振る感覚をつかんでください。
この感覚が身に付いたらボールを打ってみてください。
最適なグリップ圧を選んでください。それが一番の近道です。体格や癖によって最適なセッティングを選んでください。ただ、一般的なガイドラインもあります。

グリップ圧レベル設定 (参考標示)

1 - 12 ドライバー ~ ミドルアイアン
13 - 18 ショートアイアン ~ パター

*これはあくまで参考標示です。個人差があるので自分に適したレベル数値をみつけて設定して下さい。

グリップ圧感度テーブル



設定1

- クラブを握って感知(アラーム)した手前の数値で+ボタンでレベル調整し設定して下さい。
- レベル調整は小さい数字から少しづつ数字を上げていき、自分に合ったレベルポイントに設定してみてください。
- 設定が出来ましたら、スタンス~インパクトの間でスイング動作をしてみてください。もしセンソグローブが感知(アラーム&ディスプレイ)した場合は
 - ・グリップ圧がどれだけ上がっているか
 - ・どの指に加圧されていたか
 を確認し、次のスイングでは意識して加圧しないようにコントロールして練習して下さい
- センソグローブで感知されないようなスイングに慣れてきたら、センサーレベル数値を少し上げて引き続き練習してみてください。
設定数値を上げることで、更にリラックスグリップの練習につながります。(もし、頻繁に感知されるようでしたら逆にセンサーレベル数値を少し下げてください)